

4. その他の分野

「食」と「農」を協働で育み、健康で豊かに暮らせるまち・おごおり

平成27～令和元年度の食料・農業・農村に係る事業実績のカテゴリーに当てはまらない実績を挙げていきます。

実績:27・30

○「小郡魅力化計画」に参加し、まちづくりについて議論した。

○小郡魅力化計画

一人ひとりが地域（まち）に対して抱く「特別な思い」を他者と分かち合い、食い違う思いを議論し合い、相互理解を深めた上で地域の持続的発展へとつなげていくための計画であり、そのための行為が「魅力化計画」です。

平成27年度には、まちの特産品をつくっていくきっかけとして、小郡市で生産されている大豆（フクユタカ）を活用した「きなこ☆ぼうる」をつくってみたいという研究チームに情報提供などの協力をしています。



30年度は地域おこし協力隊が参加し、「家庭菜園」、「農家民泊」、「農業女子」、「買い物弱者」、「軽トラ市」など様々なことを話し合っています。チーム名「まんぷくいもむし」で「軽トラ市」を行いました。また、農業女子でチームを結成し、農産物の小郡ブランド構築に向けた商品開発構想も提案され、令和元年度に商品化されています。

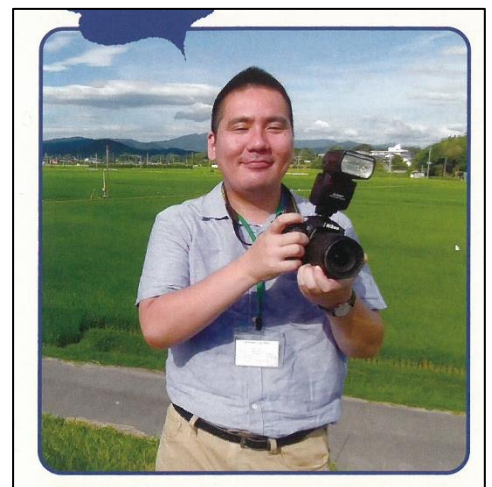
実績:30～元

○地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に向けた取組を進めた。

○地域おこし協力隊

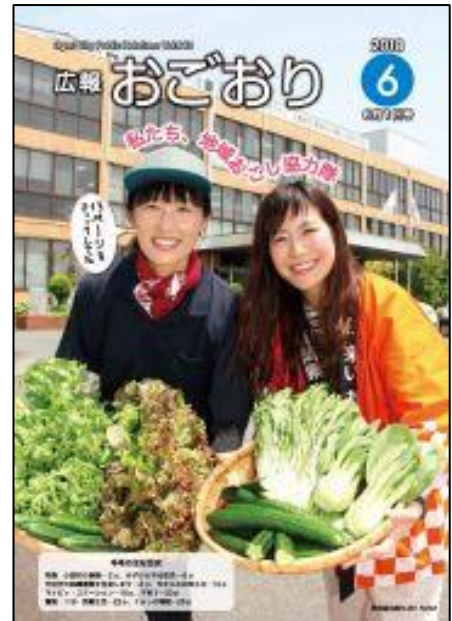
都市部の人材を1～3年間地方に受け入れ、地域協力活動を担ってもらいながら、将来的には地域での定住化を図る国の事業。市外からの新しい感性で小郡の魅力を発見してもらうとともに、磨き上げてもらうことで小郡を盛り上げ、多くの人に小郡を好きになってもらいたいとの思いから、30年度に2名の協力隊員を任用しました。

農業関係では平成30年度は「農産物特産品プランナー」として、小郡の特産品を発掘、開発するための活動や、そうした農産物や加工商品を小郡ブランドとして多くの人に知ってもらうためのPR活動に取り組んでもらいました。令和元年度か



らは「地産地消コーディネーター」として、30年度の事業を引き継ぎつつも、まだ広くは知られていない地域の逸材にスポットを当て、新たな需要を生み出す活動に取り組んでいます。

多くの農業者と会い、まちおこしの原動力となりうる市内の多くの方々と会って人脈を広げる一方、買い物弱者に関する会議や農業女子ネットワークの立ち上げ、小郡魅力化計画における提案など、行政ではなかなか行き届かない分野において能力を発揮していただいています。また、果樹農家と洋菓子店を結び付けて、規格外農産物の活用の道を開く道筋をつけていただきました。さらに、SNSを駆使した農業関係のPR活動を中心に、令和2年7月から営業を再開する農産物直売所「宝満の市」を地産地消の推進拠点としていくための取組を進めていただいています。



実績:30～元

○「平成30年7月豪雨」、「令和元年7月豪雨」、「令和元年8月豪雨」、「令和元年9月台風17号」に起因する災害復旧事業に取り組みました。

○災害復旧事業

令和元年度は、平成30年7月豪雨に続いて2年連続、そして7月、8月、9月の3か月連続で災害が発生し、農業分野にも甚大な被害をもたらしました。災害復旧のために、国・県・市・J・A・農業共済などの関係各機関が連携を図って復旧事業に取り組みました。

しかし、復旧事業に多くの人が同時期に取り組んでいることから工事が間に合わず、令和2年度も引き続き復旧作業を行っている農業者もおられます。

- (1) 被災証明書の発行：様々な災害復旧支援の基となる。農業分野は農業振興課が発行。
- (2) 農業関係災害ゴミ等対策①
災害ゴミ処理についてクリーンヒル宝満と協議し、被災者負担なしで受入れ。
- (3) 農地への流入ゴミ等対策②
災害ゴミを処理場に持ち込む時間がない被災農業者のために、集積場を設置。
- (4) 融資に対する償還期限の延伸
延伸要望農業者へ各金融機関での手続きに関する情報提供を行った。
- (5) 営農再開のための融資のあっせん：国や政策金融公庫の融資情報をホームページに掲載。
- (6) 農業施設及び付帯施設の再取得または修繕を支援。
- (7) 農業用機械の再取得または修繕を支援。
- (8) 浸水防止壁、給水ポンプの嵩上げ、排水ポンプの増設といった災害回避施設の設置を支援。
- (9) 次回作付に必要な資材（種子、薬剤、肥料など）購入を支援。
- (10) 暴風により損壊したハウスビニールを張り替える費用を支援。
- (11) 農業災害見舞金の支給：30年度市独自事業。被災認定農家に対し一律3万円を支給。

(12) 損壊した農業に関する施設等の緊急修繕事業

○平成30年7月豪雨災害



【左：上田町堤被災状況】

【下：災害応急仮工事後】



○令和元年7月豪雨災害



【左：干潟草場川破堤状況】



【右：災害復旧工事後】

